

株式会社ボーダーリンク(以下、「甲」という)は、甲が運営する「ボーダーリンク英会話」上で提供する子ども向けオンライン英会話サービス(以下、「当サービス」という)を利用する者およびその親権者等法定代理人(以下、当該利用者を「受講者」、当該親権者等法定代理人を「保護者」といい、両者を併せて「乙」という)が当サービスを利用することに関して以下の利用規約(以下、「当利用規約」という)を定めます。

乙は、当利用規約および甲が別途定めるプライバシーポリシー(個人情報保護方針)(<https://cdn.edule.jp/jp/privacy.pdf>) (以下、「プライバシーポリシー」という)および、個人情報の取り扱い(<https://cdn.edule.jp/jp/policy.pdf>)を熟読しなければなりません。なお、乙は、当利用規約のすべての条項に同意したうえで当サービスへの登録申し込みを行うものとします。

当利用規約の範囲

第1条

当利用規約の適用の範囲は、甲のウェブページ(以下、「当ウェブ」という)に加え、甲が乙に対して発信する情報も含まれます。

アカウントの登録

第2条

• 1項

保護者は、甲が定める手段にて当サービスを利用するために必要な保護者情報(以下、「保護者アカウント」という)を登録するものとします。なお、アカウントは、保護者アカウントと、甲が受講者に対して発行する受講者アカウント(以下、「受講者アカウント」といい、両者を併せて「アカウント」という)により構成されるものとします。

• 2項

乙は、保護者アカウントの登録及び当サービスの利用にあたり、下記の事項を確認し、同意しなければなりません。

1. 乙の通信環境が当サービスの利用に支障がないこと。
2. 当サービスを受講者が利用することについて、保護者が同意をしていること。
3. 当サービスのレッスンは、甲の正社員・パート・アルバイトだけではなく、甲の子会社の正社員・パート・アルバイト、甲が委託する Independent Contractor、甲の委託先の従業員(以下、レッスンを行う者を「講師」という)が担当すること。
4. 乙に対して当サービスに関する電子メールによる通知、広告、アンケート等を実施することができること。

5. カスタマーサポートによる対応の品質向上等のため、甲が乙の問い合わせ内容等を記録、録音、保管できること。
6. レッスンの品質向上等のため、甲または講師が受講者のレッスンの録音・録画等を行い、甲、甲の子会社および甲の委託先が当該録音・録画・チャットの履歴等のレッスンの記録を監視および保管できること。

- **3項**

アカウントは、乙が嚴重に管理しなければなりません。甲は、ログイン時に入力されたログイン情報と登録されたものとの一致をもって当サービスの利用が受講者および保護者本人によるものであるとみなすことができます。

- **4項**

乙は、アカウントを第三者に使用させてはなりません。また、第三者への譲渡、貸与等も行ってはなりません。

- **5項**

乙は、アカウントを失念した場合または第三者に不正に使用されている疑いがある場合、甲に対して、速やかに連絡を行い、指示等に従わなければなりません。なお、保護者は、同連絡等を遅滞したことにより生じるすべての損害等を賠償する義務を負うものとします。

アカウントの変更

第3条

保護者は、保護者アカウントまたは受講者アカウントに登録した情報に変更の必要性が生じた場合、甲が定める手段によって遅滞なくアカウントの変更手続きをするものとします。なお、甲は、契約者が同変更手続きを遅滞したことにより損害等を被った場合でも、同損害に対して、一切責任を負わないものとします。

禁止行為

第4条

- 乙は、当サービスの利用に際して、以下に定める行為を行ってはなりません。
 1. 乙が当サービスを利用する権利またはアカウントを他者に譲渡、使用、売買、名義変更、質権の設定、担保に供すること。
 2. 甲の名誉、信用、著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、肖像権、プライバシーを侵害すること。

3. 本規約で明示的に認められる場合または甲が認める場合を除き、当サービスを通じて入手した情報を、複製、販売、出版その他利用する行為。
4. 当サービスの一部を複製、頒布または開示する行為。
5. 違法行為、公序良俗に反する行為。
6. 当サービスの運用を妨げる行為。
7. 甲のネットワークまたはシステム等に過度な負荷をかける行為。
8. 甲のネットワークまたはシステム等に不正にアクセスしまたは不正なアクセスを試みる行為。
9. 当サービスまたは甲のサイトに関連するプログラムを変更、削除、逆コンパイル、逆アセンブルまたはリバースエンジニアリングする行為。
10. 当サービスを営業行為、営利目的およびその準備に利用する行為ならびにこれらを直接または間接に惹起しもしくは容易にする行為。
11. 当サービスの他の受講者・講師らに違法行為を勧誘または助長する行為。
12. 当サービスの他の受講者・講師らが経済的・精神的損害、不利益を被る行為。
13. 犯罪行為および犯罪行為に結びつく行為。
14. 講師らへの嫌がらせや、不良行為などレッスンおよびチャットの進行を妨げる等のハラスメント行為。
15. 個人を特定できる情報(IDを含みます。)を、当サービスを通じて収集するまたは獲得する行為。
16. 講師らの雇用条件やコールセンターの場所、インターネット回線など甲の一般的に開示していない機密情報を詮索する行為。
17. 講師らに対して宗教、政治結社、マルチ商法等の勧誘をする行為。
18. 電子メールの送受信を含め、オンライン、オフラインを問わず、乙本人またはその代理人が講師らと個人的に接触する行為。
19. 講師らに甲の競合たりうるサービス・企業での勤務を勧誘する行為。
20. 甲のカスタマーサポートスタッフへの暴言・脅迫行為、またはカスタマーサポート業務の進行を妨げる行為。
21. 以下に該当しまたは該当すると甲が判断する情報を、甲、講師ら、または他の契約者・受講者に送信する行為。
 - ① 甲、講師ら、他の契約者・受講者またはその他の第三者の名誉または信用を毀損する表現を含む情報
 - ② 暴力的または残虐な表現を含む情報
 - ③ わいせつな表現を含む情報
 - ④ 差別を助長する表現を含む情報
 - ⑤ 自殺、自殺行為等を助長する表現を含む情報
 - ⑥ 薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報

- ⑦ 反社会的な表現を含む情報
 - ⑧ スпам、チェーンメール等の、第三者への情報の拡散を求める情報
 - ⑨ 違法な勧誘、宣伝等を含む情報
 - ⑩ 他人に不快感を与える表現を含む情報
 - ⑪ コンピュータ・ウイルスその他の有害なコンピュータ・プログラムを含む情報
 - ⑫ 布教および宗教の勧誘を目的とする情報
- 22. 一つの受講者アカウントを複数の受講者で利用する行為。
 - 23. 一つの保護者アカウントを複数の保護者で利用する行為。
 - 24. 複数の契約者アカウントを登録する行為。(家庭向けサービスにて契約者アカウントをご登録されている場合は、同一アカウントをご利用ください。)
 - 25. 一人の受講者に対して、複数の受講者アカウントを登録する行為。
 - 26. 第三者に成りすます行為、自分と他人または団体との関係を不正表示する行為、自分の身元を隠しまたは隠そうと試みる行為。
 - 27. 他の契約者・受講者の ID およびパスワードを利用するまたは利用させる行為。
 - 28. レッスン内容を録音または録画する行為。
 - 29. レッスンの動画、静止画または音声を、甲に無断で SNS 等に発信する行為。
 - 30. 教材(その他コンテンツを含む)の内容または音声を、甲に無断で SNS 等に発信する行為。
 - 31. 一定の行為の繰り返し、過剰な要求その他当サービスの濫用にあたり甲が判断する行為。
 - 32. その他、甲が不適当と判断する行為。

罰則規定

第 5 条

- **1 項**

甲は、乙が下記のいずれかに該当した場合、乙に対して、レッスンの提供拒否、当サービスの利用停止の処分その他甲が必要と判断する処分を行うことができます。

- 1. 乙が第 4 条に定める禁止行為を行った場合。
- 2. 乙が当利用規約の各規定に違反した場合。
- 3. 乙が当サービスの利用に際し、甲からの重大な指示等に従わなかった場合。
- 4. その他の事由で甲が乙による当サービスの利用を不適切と判断した場合。

- **2 項**

乙は、前項に違反する行為に起因して甲または第三者に損害が生じた場合、すべての法的責

任を負うものとし、いかなる場合も甲を免責するものとします。ただし、甲の責による場合は、この限りではありません。

電子メールによる通知

第6条

- **1項**

甲は、当サービスに関する重要な情報を送信する場合、乙が甲からの電子メールでの通知等の受信をすべて拒否する設定をした場合でも、電子メールの送信ができるものとします。
- **2項**

電子メールによって行われる通知は、乙の登録情報に記載された電子メールアドレス（以下、「指定メールアドレス」という）宛への発信をもって完了したものとみなします。
- **3項**

乙は、指定メールアドレスに関する各種設定等を変更し、甲（ドメイン名：edule.jp）からの電子メールの受信を許可しなければなりません。
- **4項**

甲は、指定メールアドレスに不備、誤記があったことまたは乙が受信設定の変更を怠ったことに起因して甲からの電子メールが乙の元に届かなかった場合、同不到達に対して、一切責任を負わないものとします。なお、乙は、同不到達に起因して生じるすべての損害等を賠償する義務を負うものとし、いかなる場合も甲を免責するものとします。

当サービスの利用

第7条

- **1項**

乙は、甲が別途定める推奨環境にて当サービスを利用するものとします。乙は、甲が指定する通信ツールを利用するにあたり、アプリケーション等のインストールが必要な場合は、その最新版を、自らの費用と責任において通信端末にインストールするものとします。また、乙の通信環境、アプリケーション等のインストールにより生じた不具合には、甲は何ら責任を負わないものとします。
- **2項**

乙は、甲による受講者アカウントの発行後、当サービスを利用することができるものとします。

会員

第 8 条

- **1 項**
受講者は、受講者アカウントの登録が完了後、会員として甲が付与するポイントを利用してレッスンを受講することができます。
- **2 項**
乙は、レッスン受講中も、当利用規約を遵守する義務を負います。

レッスン

第 9 条

- **1 項**
レッスンは、1 レッスを 15 分または 25 分間とします。なお、レッスンの時間は、特段の定めがない限りいかなる場合も中断されないものとします。
- **2 項**
受講者がレッスンの開始時刻時点で、レッスンページに入室していない場合、甲は、乙がレッスンを欠席したものとみなし、当該レッスンを終了することができるものとします。
- **3 項**
乙は、予約済みのレッスンの受講をキャンセルする場合、甲に対して、当該レッスン開始時刻の 30 分前までに当ウェブ上でキャンセルの手続きを行わなければなりません。なお、キャンセルの手続きは、甲が定める手段にて行われるものとします。
- **4 項**
甲は、受講者がレッスンへの無断欠席を繰り返し行った場合、乙に対して、警告、改善指示等を行うことができるものとします。なお、同指示等に従わない場合、甲は、乙に対して、第 5 条の処分等を行うことができるものとします。
- **5 項**
甲は、乙が第 4 条に定める禁止行為を行ったことが、レッスン中に判明した場合、即時にレッスンを中断できるものとします。

レッスンの予約

第 10 条

- **1 項**
乙は、レッスンの受講日時および担当講師を当該レッスンの開始日時の 5 分前までに予約しなければなりません。
- **2 項**
乙は、甲が定める期間内において、前項の予約を行うことができるものとします。
- **3 項**
前項の予約は、当サービス上の乙の予約状況に、当該予約が反映された時点で成立するものとします。
- **4 項**
甲は、本条第 1 項の予約について、やむを得ない事由により担当講師によるレッスンの実施ができない場合、別の講師によるレッスンの実施(以下「代講」という)または当該レッスンのキャンセルを行うことができるものとします。
- **5 項**
乙は、レッスンが代講になる場合、当該レッスンの開始時刻の 30 分前までに当ウェブ上でキャンセルの手続きを行うことにより、当該レッスンをキャンセルすることができるものとします。

ポイント

第 11 条

- **1 項**
乙は、「ポイント」を利用することで、レッスンを受講することができるものとします。
- **2 項**
ポイントは、受講者アカウント登録完了時に付与されます。
- **3 項**
乙は、前項の定めに従い付与されるものを除き、下記に定める場合に、別途ポイントを取得することができるものとします。
 1. 甲または講師の責により、レッスン時間が大幅に短縮された場合
 2. 講師が、レッスンを行えなかった場合。ただし、代講により、受講者がレッスンを受講できた場合は、ポイントは付与されないものとします。
 3. レッスンページの不具合等によりレッスンを受講できない場合。
 4. 甲のシステムトラブルにより受講が不可能な場合
 5. その他、甲がポイントの付与を適当と認めた場合

- **4項**

前項に関わらず、下記に定める場合は、甲は乙に対してポイントを付与しないものとします。

1. 講師の通信障害であることを、甲が確認できなかった場合
2. 受講者が、レッスンに遅刻、早退した場合
3. 乙が、前条に定める方法で予約したレッスンのキャンセルを忘れた場合
4. 乙が、前条に定める予約を行っていない場合
5. 乙が、甲に対して虚偽の申告をするなど、不当な手段でポイントを取得していた場合
6. その他、乙の責により、レッスンの全部または一部を受講できなかった場合

- **5項**

ポイントの有効期限は別途甲が定める期限までとします。

- **6項**

ポイントの有効期限内にレッスンの予約を行わない限り、ポイントは失効するものとします。また、乙が有効期限内にポイントを全て使えなかった場合においても、甲はポイントの買取および返金を行わないものとします。

- **7項**

ポイントは、当該ポイントを付与された受講者が権利を有するものとし、乙は、甲ならびに第三者および他の受講者に対して譲渡、売買、権利の移転等は、できないものとします。

アカウント削除

第12条

乙は、受講者アカウントを削除することができないものとします。保護者アカウントは、当ウェブ上の「お問い合わせ」からアカウント削除手続きを行えるものとします。なお、甲がアカウント削除申請を確認し、手続きを完了した旨を電子メール等で送信した時点でアカウント削除手続きの完了とします。

登録情報の取り扱い

第13条

- **1項**

甲は、乙のアカウントを当サービスの提供の目的にのみ使用するものとします。

- **2項**

甲は、乙のアカウントを乙の事前の承諾なく第三者に開示しないものとします。ただし、以下に該当する場合は、この限りではありません。

1. 法令等に基づき開示を求められた場合。
2. 公的機関より開示を求められた場合。
3. 当サービスの提供を目的とし、当サービスの一部を第三者に委託(再委託を含む)する場合。

- **3項**

甲は、乙のアカウントのうち、「個人情報」に該当する情報について、プライバシーポリシーに則り取り扱うものとします。

当サービスの変更・中断・終了

第 14 条

- **1項**

甲は、事前に当ウェブ上での掲示または乙への電子メールの送信により通知をすることで当サービスを変更、中断または終了できるものとします。また、アプリケーションの障害、国内外の政治情勢・自然災害等、提供するサーバー等の障害またはその他やむを得ない事由により当サービスの提供が困難な場合、予告なしに当サービスを中断することができるものとします。

- **2項**

甲は、フィリピン共和国をはじめとする講師在住国の祝祭日(ホーリーウィーク、クリスマス等)を理由とした当サービスの中断、提供レッスンの減少を、事前に当ウェブまたは電子メールでの連絡をもって行うものとします。乙は、フィリピン共和国の祝祭日に当サービスを利用できない、もしくは利用可能なレッスンが通常より著しく減少する可能性があることに予め同意するものとします。

損害賠償責任

第 15 条

- **1項**

乙は、乙の当利用規約に反する行為に関連して甲またはその関係者が損失、支出、損害、債務等(合理的な弁護士費用および裁判費用を含みます。)を負担した場合、その一切について、補償するものとします。

- **2項**

いかなる場合であっても、当サービスまたは当利用規約に関連して乙に損害が生じた場合であって、甲が乙に対し契約上または不法行為上その他理由の如何を問わず責任を負う場合における甲の責任の総額は、甲の故意または重過失に基づく場合を除き、甲所定年度において、原因事実発生時点までに当利用規約に基づき乙から甲が実際に受領した利用料金の合計金額を超えないものとし、また、特別損害、付随的損害、間接損害、将来の損害および逸失利益にかかる損害については、賠償する責任を負わないものとします。

著作権および所有権

第 16 条

- **1項**

当サービスに関する商標、ロゴマーク、記載、コンテンツ等についての著作権、所有権は、全て甲に帰属します。乙は、甲の事前の明示の承諾なく同商標等を使用すること、雑誌、他のサイト上へ転載すること、改変すること、複製すること等の当サービス利用の目的を超えた行為を行ってはなりません。

- **2項**

甲は、乙が前項に違反した場合、乙に対して、著作権法、商標法等に基づく各処置（警告、告訴、損害賠償請求、差止請求、名誉回復措置等請求）を行うことができるものとします。

免責事項

第 17 条

乙は、下記の各条項に定める事項に起因または関連して生じた一切の損害について、甲がいかなる賠償責任も負わないことに予め同意します。

1. 当サービスの利用に際し、以下のような事由により、満足な利用ができなかった場合（以下の状況を含みますが、これらに限定されません）
 - (1) 急激なユーザー数の増加、または第 14 条 2 項に定める事由により、提供レッスン数が不足したこと起因する場合。ただし、第 11 条 3 項 3 号による場合は、ポイントを付与することにより補填します。
 - (2) 乙が希望する特定の講師のレッスンが予約できなかった場合。
 - (3) 乙が希望する特定の時間帯に当サービスが予約または利用できなかった場合。
 - (4) 第 14 条 1 項に定める事由によりレッスンを中止せざるを得なかった場合。ただし、第 11 条 3 項 4 号および 5 号による場合は、ポイントを付与することにより補填します。

- (5) フィリピン共和国をはじめとする講師在住国での停電等の不可抗力によりレッスンを中止せざるを得なかった場合。
 - (6) 乙のメッセージやデータへの不正アクセスや不正な改変、その他第三者による行為に起因する場合。
2. 当サービスの学習効果や有効性、正確性、真実性等。
 3. 当サービスに関連して甲が紹介・推奨する他社のサービスや教材等の効果や有効性ならびに安全性や正確性等。
 4. 甲の提携先企業が提供するサービスの不具合、トラブル等により当サービスが利用できなかった場合。
 5. 乙がレッスンまたはカウンセリングを通じて、自己責任で受信した、または、開いたファイル等が原因となりウィルス感染などの損害が発生した場合。
 6. 乙の過失によるパスワード等の紛失または使用不能により当サービスが利用できなかった場合。
 7. 当ウェブで提供するすべての情報、リンク先等の完全性、正確性、最新性、安全性等。
 8. 当ウェブから、または当ウェブへリンクしている甲以外の第三者が運営するウェブサイトの内容やその利用等。
 9. 当ウェブで掲示したキャンペーンが予告なく中断・終了した場合。
 10. 当サービスの利用に関連して他の会員またはその他第三者との間で生じた取引、連絡、紛争等。

当サービスの日時表示

第 18 条

当サービスにおいて、利用開始日、利用月の開始日、各種料金支払の期日、各種申請等の締切日等の日時は、全て日本時間(GMT+9:00)によるものとします。

当利用規約の変更

第 19 条

• 1 項

甲は以下の場合に、甲の裁量により、利用規約を変更することができます。

- (1) 利用規約の変更が、乙の一般の利益に適合するとき。
- (2) 利用規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。

- **2項**

甲は前項による利用規約の変更にあたり、変更後の利用規約の効力発生日の1か月前までに、利用規約を変更する旨および変更後の利用規約の内容とその効力発生日を当ウェブに掲示し、または乙に電子メールで通知します。

- **3項**

変更後の利用規約の効力発生日以降に乙が当サービスを利用したときは、乙は、利用規約の変更に同意したものとみなします。

準拠法および専属的合意管轄裁判所

第20条

当利用規約は、日本国法に準拠して解釈されるものとします。また、甲および乙は、当サービスまたは当利用規約に起因もしくは関連して甲と乙の間で生じた紛争の解決について、東京地方裁判所を第一審専属管轄裁判所とすることに予め合意するものとします。

【2022年4月1日制定】

【2023年6月1日改定】

【2024年1月30日改定】

【2024年10月2日改定】

【2024年12月2日改定】